

稲高 滋

経歴書

1947 年生まれ

- **1970 年** 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
- **同年** 日本 IBM 株式会社入社製造工業担当営業として名古屋営業所配属
- **1982 年** IBM ワールド・トレード・コーポレーション配属（米国ニューヨーク）
MCI メール使用開始。CitiBank ホームバンキング（Direct Access）
利用開始。
- **1984 年** IBM 本社にてパソコン通信サービス「PRODIGY」企画参加。
- **1985 年** 米国 IBM 通信機器営業推進部門配属、トークンリング LAN、SNA,OSI
を担当。
- **1986 年** 日本 IBM 通信ネットワークシステムズ製品企画マネジャーとして日本
IBM が取り扱う通信関係のハードウェア、ソフトウェア、交換機
（CBX）、サービスの責任者。この間新規事業の立ち上げとして、S&I
株式会社（住友電工、日本生命などとの合弁）、NI&C インターナシヨナ
ル株式会社（NTT との合弁）、ROLM ジャパン（オムロン株式会社との
合弁）、PEOPLE 株式会社（三菱商事、東芝、日立との合弁）などを
設立、また、IBM として初の通信機器専門の外部販売チャンネルを設立。
社長賞。
- **1992 年** 日本 IBM サービス株式会社営業推進統括本部長
- **1995 年** IBM アジアパシフィック IBM グローバルネットワーク企画担当
マネジャーとして IBM アジア 16 カ国でのインターネットサービスを
立ち上げ。アジア・パシフィック社長賞。
- **1996 年** インターネット・ワールド・エキスポ'96 IBM 館 館長として様々な先端
プロジェクトを実現 「デジタル原宿」「小錦の部屋」
「伊勢神宮鎮座 2000 年」「三島由紀夫サイバーミュージアム」
「モンゴル・ゴビ砂漠 5000 Km ラリーライブ中継」「ホームタウン・
ホームページ」「ワシントン、ロンドン、ハワイ、ソウル、東京ライブ
五元中継」「海外結婚式ライブ中継」、「東京アクセスガイド」で
日本赤十字社から感謝状、「上海国際マラソン」「ハワイ観光記念ホーム
ページ（JAL パック協業）」「サイバーオリエンテーリング（バンダイと
の協業）など。
- **1997 年から** 長野オリンピック・パラリンピック公式ウェブサイト責任者（長野
- **1998 年** オリンピック・プロジェクト・オフィス インターネット&
テクノロジー・マーケティング部長）。インターネット中継車制作。

SHIGERU INATOMI PERSONAL BIO

100日前イベント ローザンヌ、東京ライブ中継。パラリンピックライブ中継（4チャンネル、延べ100時間）。インタートを利用したFM放送の提供など。オリンピック・グッズのネット販売、小布施北斎館、長野市内と選手村でのテクノロジー・ショーケース運営。会長賞。

- 1999年 エンタープライズ・ウェブ・マネジメント（EWM）部長として日本 IBM サイト全体（社外向け、社内向け）の責任者となる。
MIT 石井裕教授の協力を得て、Tangible Media, Ambient Fixture として我が国初のサーバーへのアクセス数に応じて回転する風車を日本 IBM 箱崎事業所に導入。
- 2001年 IBM 初のコマースサイト（ShopIBM）を立ち上げる。社内 e-ビジネス化を推進。アフィリエイト・マーケティング手法を初めて導入。
- 2002年 IBM ウェブサイト・ショールーム（inside ibm.com）企画運営。
- 2003年 EC サイトで PC 月間売上世界一（IBM 内）を達成。
- 2004年 日本 IBM 参与。IBM アジアパシフィック Web Operational Model 担当、Web 顧客満足度責任者。
- 2005年 日本 IBM を早期退職。同時にプログラム・アドバイザー就任現在に至る。
- 2006年 外務省 IT 情報政策第三者評価員
- 2007年 企業ウェブ・グランプリ事務局長就任

役職・その他

有限会社 堂々 代表取締役
京都商工会議所特別会員
フランス リムーザン県商工会議所ゴールドメダル受賞
WIF (Webdesign International Festival) 日本審査員

著述・記事

オリンピック関係 （日刊工業新聞、産経新聞、ヤフーマガジン、プロビジョン誌、映像情報メディア学会誌、ニューメディア誌など）
インターネット関係 （プロビジョン誌、広告会議）
趣味関係 （季刊誌「ふでばこ」執筆、NHK 熱中時間出演、朝日新聞、東京新聞記事掲載）